

令和元年度事業報告

1 県民会議運営事業

(1) 総会、理事会及び常任理事会等の開催

- ① 総会 令和元年5月29日 県庁講堂 出席者 117人

<協議事項>

- ・平成30年度事業報告、収支決算報告及び監査報告
- ・令和元年度活動方針、事業計画及び収支予算の審議
- ・役員の補欠選任

- ② 理事会 令和元年5月17日

<協議事項>

- ・令和元年度総会の開催について
- ・役員の補欠選任について

- ③ 常任理事会

第1回 令和元年9月11日

- ・令和元年度山形県青少年育成県民会議表彰について
- ・令和元年度山形県青少年健全育成県民大会について
- ・役員の補欠選任について

第2回 書面開催

- ・令和元年度事業実績及び収支決算見込みについて
- ・令和2年度活動方針案、事業計画案及び収支予算案
- ・役員の補欠選任及び令和2年度役員体制案について

- ④ 監事監査 令和元年5月8日

- ・平成30年度収支決算に係る会計監査

(2) 運営基盤の強化

- ・専任事務局長を引き続き配置し、運営強化に努めた。
- ・新規会員の加入促進を図り、会員の拡大に努めた。特に、県子育て推進部の協力をいただき、県職員の新規会員拡大に取り組んだ。

(単位：人・団体)

会員種別 総数	平成30年度末 (H31.3.31現在)	入会者数	退会者数	令和元年度末 (R2.3.31現在)
特別会員 (団体)	8	0	0	8
賛助会員 (人・団体)	105	0	3	102
団体会員 (団体)	144	0	4	140
個人会員 (人)	1,188	87	94	1,181
合計 (人・団体)	1,445	87	101	1,431

(3) 他団体・内閣府等が主催する会議、研究会等への参加出席

- ・山形市青少年育成市民会議総会(6月25日)
- ・第51回日本PTA東北ブロック研究大会南陽・東置賜大会(9月8日)
- ・子ども・若者育成支援のための地域連携推進事業「北海道・東北ブロック研修会」
(10月25日)
- ・子ども・若者育成支援のための地域連携推進事業中央研修大会(11月25日～26日)

2 県民運動総合推進事業

(1) “いじめ・非行をなくそう” やまがた県民運動の推進

① 地区青少年育成連絡協議会及び市町村民会議等地域団体の機能強化、活動・取組みに対する支援

- ・推進会議の開催、関係団体等との連携強化、講演、勉強会等の開催
- ・ポスター・リーフレット等の作成・配布、街頭啓発活動 等

【地区別助成状況】

(単位：千円)

	村山	最上	置賜	庄内	計
“いじめ・非行をなくそう”	620	300	386	444	1,750
やまがた県民運動推進事業助成額	85	41	53	61	240

※：下段は「児童生徒と地域の大人の対話会開催経費」

上段はそれ以外の事業費

② 「いじめ・非行をなくそう” やまがた県民運動」標語の募集、選考

- ・県内各小中学校、特別支援学校において「いじめ・非行防止」に係る標語を募集
- ・期間：令和元年7～8月
- ・選抜：各地区青少年育成連絡協議会において、地区毎に優秀作品を選考。(9月)
- ・応募総数：56,487点

③ スローガン、ポスターデザインの募集

各高等学校生徒会等に対していじめ防止スローガンの作成を依頼、併せてポスターデザイン募集した。

④ 児童生徒と地域の大人の対話会

〈村山地区〉

主催：村山市青少年育成市民会議、共催：村山市教育委員会

期日：令和元年11月16日 村山市「飯葉プラザ」

対象：小中学生、PTA・教職員、一般市民

参加者：児童・生徒50人、大人100人

テーマ：「学校での地域学習や地域で頑張っていること、誇れるもの」

〈最上地区〉

主催：最上地区青少年育成連絡協議会、最上総合支庁

期日：令和元年11月23日 新庄東高等学校

対象：高校生、青少年育成関係者、教職員等

参加者：39人

テーマ：「より分かりあえるコミュニケーションとは」
12分科会による懇談を実施

〈置賜地区〉

主催：置賜地区青少年育成連絡協議会

期日：令和元年9月12日 県立小国高等学校

対象：小国中学校3年生、小国高校1・2年生、青少年育成関係者、教職員等

参加者：約100人

テーマ：「幸せって何だろう」について、生徒がファシリテーターとなって、グループ討議

〈庄内地区〉

ア 主催：鶴岡市青少年育成市民会議羽黒地区会議

期日：令和元年9月10日 羽黒コミュニティセンター

対象：中学生、高校生、青少年育成関係者等

参加者：生徒20人、大人30人

テーマ：「住みたい街について話そう」

イ 主催：鶴岡地区少年補導員連絡会

期日：令和元年10月29日 金峰少年自然の家

対象：中学生、高校生、青少年育成関係者等

参加者：生徒64人、大人15人

テーマ：「SNSへの悪意のある書き込みトラブルを防ぐには？」

ウ 主催：酒田市青少年を伸ばそう市民会議

(ア) 中学生や高校生との対話会

期日：令和2年3月10日

場所：紙上での会議(新型コロナウイルス対応で学校が休校となったため)

テーマ：いじめと非行や学校生活と自分の将来について等

対象：酒田青年会議所の主催事業に参加の中学生8人、高校生6人

(イ) 中学生との対話会(中学生と連絡協議会にオブザーバー参加)

期日：令和2年1月16日

場所：酒田市総合文化センター

参加者：5人(三役及び各部長)

(ウ) 小学生との対話会

テーマ：「第三日曜日は家庭の日」推進運動を中心とした家族間のコミュニケーションづくり

対象：小学生、青少年育成関係者等

参加者：児童57人、大人91人 合計148人(5学区合計)

- ・富士見学区 令和元年6月23日
- ・松原学区 令和元年11月24日
- ・若浜学区 令和元年12月8日
- ・松陵学区 令和元年12月14日
- ・鳥海学区 令和2年2月9日 ※各地区コミュニティセンターで開催

⑤ いじめ防止優秀標語や県民運動の広報・周知

- ・青少年健全育成県民大会における優秀標語の紹介、作者の表彰
- ・いじめをなくそうポスターの作成、配布

県内高校生から募集したポスターデザインの中から優秀作品を選び、これに優秀標語4点を配したポスターを作成、県内各小中学校、高等学校、青少年育成・教育関係機関・団体等に配布した。

作成時期 : 令和元年10月

作成部数 : 1,200部

⑥ 「いじめ・非行防止セミナー」の開催

- ・期日：令和元年10月27日（青少年健全育成県民大会において開催）
- ・場所：新庄市民プラザ
- ・少年の主張発表：県立山形聾学校中学部3年 佐藤 美華
(第58回山形県少年の主張大会 最優秀受賞者)
- ・事例発表：発表者 荒川 精治 氏（戸沢村青少年育成村民会議副会長）
発表テーマ「戸沢村における青少年健全育成の取組み」
- ・講演：講師 東北大学加齢医学研究所所長 川島 隆太 氏
演題 「子ども達の健全な脳発達をささえるために
～スマホや基本的な生活習慣の影響～」

⑦ インターネット利用に関する研修会の開催

- ・期日：令和2年2月13日
- ・場所：県庁講堂 参加：66人
- ・講師：IPAインターネット安全教室事務局 株式会社教育ネット
宮川 麻子 氏
- ・内容：「インターネット安全教室」

⑧ ホームページのリニューアル

- ・情報発信機能を強化するため、従来のブログ形式のホームページを全面的に刷新
- ・新ホームページの運用開始：令和元年12月1日

⑨ 県内プロスポーツ団体と連携した啓発活動

- ・10月14日、モンテディオ山形ホームゲームにおいて、“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動啓発用ティッシュを試合会場で配布、ハーフタイム時にグラウンド内で幟や横断幕を活用した広報啓発活動を実施

(2) 「大人が変われば子どもも変わる」県民運動の推進

青少年育成市町村民会議、地区連絡協議会等が行う「大人が変われば子どもも変わる」県民運動をはじめとする地域の実情に応じた社会環境づくり等地域実践活動に対する支援を行った。

【地区別助成状況】

(単位：千円)

	村山	最上	置賜	庄内	計
地域社会環境づくり推進事業助成額	338	218	228	313	1,097

3 青少年育成意識醸成、青少年のための環境づくり推進事業

(1) 明るいやまがた夏の安全県民運動「推進会議」の開催

期日：令和元年6月5日

場所：県庁講堂 参加：99人

(2) 明るいやまがた夏の安全県民運動「出発式」

期日：令和元年7月19日

場所：文翔館 参加：約300人

(3) 青少年健全育成県民大会

期日 令和元年10月27日

場所：新庄市民プラザ 参加：約350人

内容：① アトラクション 「萩野鹿子踊」(新庄市立萩野学園)

② 県民会議表彰(個人、団体) [敬称略]

【模範活動青少年団体】(1団体)

山形県立荒砥高等学校吹奏楽部

【青少年育成功労者】(11人)

森谷 起士(中山町) 鈴木 義明(中山町) 斎藤 宏(新庄市)

渡部 和雄(米沢市) 金子 睦夫(高畠町) 佐藤 明(高畠町)

星野 廣志(川西町) 三浦 孝(鶴岡市) 小田 正宏(鶴岡市)

佐藤 浩之(鶴岡市) 富樫 伸(鶴岡市)

【青少健全育成県民運動協力団体】(1団体)

元気っ子クラブ(米沢市)

③ “いじめ・非行をなくそう” やまがた県民運動標語等の表彰 [敬称略]

【優秀標語作者の表彰】

村山地区 西川町立西川小学校 1年 前田 結彩

最上地区 大蔵村市大蔵小学校 5年 門脇 里奈

置賜地区 南陽市立漆山小学校 6年 鈴木 蛍助

庄内地区 三川町立三川中学校 3年 片山 愛彩

【ポスターデザイン最優秀作者の表彰】

山形県立長井高等学校 1年 遠藤 斗和子

④ 大会宣言採択

⑤ いじめ・非行防止セミナー (再掲)

(4) 山形県少年の主張大会

期 日：令和元年9月28日

場 所：山形国際交流プラザ「ビッグウイング」 参加：約180人

発表者：県内各地区から選出された15人

入賞者〔敬称略〕：最優秀 山形県立山形聾学校中学部3年 佐藤 美華

優 秀 新庄市立明倫中学校3年 坂本 和香奈

〃 戸沢村立戸沢中学校3年 荒木 ひよこ

優 良 南陽市立沖郷中学校3年 伊藤 陽葵

〃 西川町立西川中学校2年 阿部 祥子

※ 最優秀、優秀の方々の主張はCDに収録し、県の4教育事務所に配置し、研修等の機会に活用いただけるよう、貸出しを行うこととした。

(5) 青少年のための環境づくり懇談会

期 日：令和元年11月27日

場 所：県庁講堂

出席者：関係業界団体、青少年育成関係団体、行政関係者 約50人

内 容：〔報 告〕

- ・県内の少年補導概況、子どもの性被害の現状について
- ・風俗環境・サイバー犯罪の現状と対策について
- ・薬物乱用の現状について
- ・本県におけるいじめの現状について

〔懇 談〕

- ・各業界における青少年に関する問題点とその対応について
- ・青少年のための環境づくりに関する申し合わせ事項について

4 青少年育成広報啓発事業

(1) 防犯広報ポスター・標語の募集及び審査会の開催

期 日：令和元年9月25日

場 所：県警201会議室

応募数：ポスター3,096点、標語8,740点

内 容：各共催団体による審査を実施

※(公社)山形県防犯協会連合会、(株)山形新聞社、山形放送(株)との共催

(2) 機関紙等の発行

山形県青少年健全育成県民運動情報誌「見守る目・育む芽」を発行

「41号」：12月 33,500部、「42号」：3月 33,500部

(3) 「家庭の日の普及啓発」

- ・各種イベントにおける幟旗の掲示及び啓発用チラシの配布
- ・ホームページに月別推進テーマを掲載
- ・山形県統計協会発行の県民手帳の予定表に「家庭の日」を掲載

(4) 県内プロスポーツ団体と連携した啓発活動（再掲）

- (5) ホームページリニューアルによる情報発信機能の強化（再掲）
- ・ 県民会議のホームページに県民会議の主要な取組みや事業の成果等を掲載し、情報発信
- (6) 青少年健全育成県民運動の啓発及び情報提供
- ・ 県民運動情報誌「見守る目・育む芽」等に活動状況などを掲載
 - ・ 2月16日、イオンモール山形南店において、「インターネットの約束ふれあいイベント」を開催し、スマートフォンのフィルタリング設定や自撮り被害防止の啓発活動を県警察本部、総務省東北総合通信局等と実施
 - ・ 各種イベント及び会議において、「“いじめ・非行をなくそう”」やまがた県民運動等の啓発用幟を会場に掲示
 - ・ 「エフエム山形」キッズガードキャンペーンと連携した県民会議の活動紹介、県民運動に資する事業の後援等

(第2号議案)

令和元年度収支決算報告

1. 収入の部

(単位:円)

項 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B-A)
1 会費	2,200,000	2,221,000	21,000
2 補助金	10,020,000	10,040,096	20,096
3 諸収入	900,000	881,843	△ 18,157
4 委託料	500,000	500,000	0
5 繰越金	551,929	551,929	0
計	14,171,929	14,194,868	22,939

2. 支出の部

項 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B-A)
1 県民会議運営事業	8,120,000	8,046,006	△ 73,994
2 県民運動総合推進事業	4,617,000	4,617,290	290
(1) “いじめ・非行をなくそう” やまがた県民運動	3,520,000	3,520,290	290
①市町村民会議等の支援	1,750,000	1,750,000	0
②標語の募集・県民運動の周知	550,000	550,290	290
③児童・生徒と地域の大人の対話会	240,000	240,000	0
④いじめ・非行防止セミナー	573,000	573,000	0
⑤インターネット利用に関する研修会	79,000	79,000	0
⑥ホームページのリニューアル	289,000	289,000	0
⑦プロスポーツ団体と連携した啓発 活動	39,000	39,000	0
(2) 「大人が変われば子どもも変わる」 県民運動等地域社会環境づくり推進	1,097,000	1,097,000	0
3 青少年育成意識醸成 ・環境づくり推進事業	1,000,000	871,897	△ 128,103
(1) 明るいやまがた夏の安全県民運動等	150,000	66,875	△ 83,125
(2) 青少年健全育成県民大会開催等	350,000	305,022	△ 44,978
(3) 少年の主張大会開催	500,000	500,000	0
4 広報啓発事業	230,000	177,474	△ 52,526
(1) 機関紙等の発行	180,000	166,674	△ 13,326
(2) 啓発活動	50,000	10,800	△ 39,200
5 繰出金	0	0	0
6 予備費	204,929	0	△ 204,929
計	14,171,929	13,712,667	△ 459,262

収入総額 14,194,868 円
 支出総額 13,712,667 円
 差引残高 482,201 円

(令和2年度へ繰越)

摘 要
特別会員8口 (240,000円)、賛助会員112口 (560,000円)、団体会員387口 (387,000円)、個人会員1034口 (1,034,000円)
県補助金 (“いじめ・非行をなくそう” やまがた県民運動、青少年育成県民運動推進費補助金等)
職員社会保険料、預金利子等
山形県少年の主張大会事業 (国立青少年教育振興機構からの県代表推薦業務の委託費)
前年度からの繰越金

摘 要
総会・理事会等諸会議の開催、事務局長及び業務推進員給与、各種会費・会議への参加負担金等
各地区青少年育成連絡協議会、市町村民会議が行う啓発活動等に対する支援
標語の募集・選抜、県民運動の広報・啓発
県内4地区において実施
講演、事例発表の実施
インターネットの危険性やフィルタリング等の理解を深めるため研修会を実施
県民会議ホームページのリニューアルによる情報発信の強化
県内プロスポーツ団体と連携した啓発活動
「大人が変われば子どもも変わる」県民運動をはじめとする地域の実情に応じた社会環境づくり等 県民運動地域実践活動への支援
明るいやまがた夏の安全県民運動、防犯作品コンクール等の諸費用
青少年健全育成県民大会の開催等に要する経費
山形県少年の主張大会の開催に要する経費、記録集の作成経費
機関紙等の県との合同発行 (年2回)
青少年健全育成県民運動の啓発及び情報提供、会員募集案内等の作成
特別事業積立金へ繰出し

特別事業積立金収支決算報告

単位：円

平成30年度末現在高	令和元年度増減			令和元年度末現在高
450,002 円	積立額	取り崩し	預金利子	450,006円
	0 円	0 円	4円	

令和元年度 特別会計収支決算報告

収入の部

単位：円

項 目	令和元年度決算額 (A)	令和元年度予算額 (B)	増減額(A-B)
1 積立金取り崩し	0	0	0
2 繰越金	50,000	50,000	0
計	50,000	50,000	0

支出の部

単位：円

項 目	令和元年度決算額 (A)	令和元年度予算額 (B)	増減額(A-B)
1 青少年育成指導者 派遣研修助成金	7,220	50,000	△ 42,780
計	7,220	50,000	△ 42,780

収入総額 50,000 円

支出総額 7,220 円

差引残高 42,780 円

(令和2年度へ繰越)

監 査 報 告 書

山形県青少年育成県民会議の令和元年度事業内容及び収支決算について監査したところ、帳簿及び証拠書類は整備されており、その執行は適正と認められたので報告します。

令和2年 4 月 3 0 日

山形県青少年育成県民会議

監 事 森 晃

監 事 齋藤哲也

山形県青少年育成県民会議

会 長 鈴 木 慈 様

(第3号議案)

役員の補欠選任について(案)

山形県青少年育成県民会議規約第14条第1項ただし書きに基づき、所属団体の役員交代等によって生じた新たな役員の補欠選任を行うもの。

なお、新役員の任期は、前役員の残任期間(令和2年度総会開催日まで)とする。

役職	前役員氏名	新役員氏名	所属団体職名	理事会等選任日
常任理事	細谷 隆良	安食 克彦	山形県高等学校PTA連合会会長	令和元年6月5日
〃	佐藤 重勝	青山 幹夫	庄内地方青少年育成連絡協議会副会長	令和元年7月1日
〃	齋藤 秀和	船橋 吾一	山形県PTA連合会会長	令和元年8月28日
〃	中原 浩子	齋藤 法明	山形県私立中学高等学校協会理事	令和2年4月1日
理事	深瀬 昌三	佐藤 重勝	山形県少年補導員連絡会会長	令和元年7月1日
〃	柴田 典子	谷貝 茂子	国際ソロプチミスト山形会長	令和元年7月12日
〃	小棹 俊輔	松井 修平	NHK山形放送局放送部長	令和元年9月13日
〃	門脇 徹	渋谷 宣寛	山形地区保護司会会長	令和元年9月24日
〃	西方 茂太	奥山 恵治	(公社)日本青年会議所東北ブロック 山形協議会会長	令和2年1月9日
〃	高山喜志子	石井 靖雄	山形県民生委員児童委員協議会副会長	令和2年1月20日
〃	渡邊 斉	戸村 浩二	前：山形県連合小学校校長会理事 新：山形県連合小学校校長会対策委員	令和2年4月1日
〃	安部 公夫	笹原 広幸	山形県警察本部生活安全部人身安全 少年課長	令和2年4月1日
〃	佐藤 佳子	工藤 明子	山形県子育て若者応援部若者活躍・男女 共同参画課長	令和2年4月1日

(敬称略)

令和2年度活動方針案について

1 現 状

少子・高齢化、情報化、国際化が急速に進展するなど、社会情勢は大きく変化してきている。青少年をめぐっては、三世代同居の減少や一人親世帯の増加、いじめ問題、不登校、児童虐待、地域社会におけるつながりの希薄化などが顕著になっている。加えて、近年はスマートフォンなどインターネットにつながるICT機器の青少年への急速な普及、インターネット上に氾濫する有害情報などが問題となっており、このような中で、コミュニティサイトなどに起因して青少年が犯罪やトラブルに巻き込まれる事件も発生している。

このような青少年を取り巻く環境において、青少年の健全育成の重要性は更に増している。

2 県の施策の方向

こうした状況下、県においては、青少年の健全育成に関する基本計画となる「山形県子ども・若者ビジョン」を令和2年3月に策定し、「子ども・若者一人ひとりが安心できる環境の中で、自分を大切に、他者と関わりを通して自己形成や他者に対する尊重、社会への参画力を醸成できるよう、また、子どもの頃から強度に愛着や誇りを持ち、「山形らしい」自然の力や風土、精神文化に育まれた、心身共に健全で豊かな人間性が養われるよう、社会全体で子ども・若者の育ちや自立を支援する」こととしている。

3 活動の重点事項

このような社会状況や県の施策の方向を踏まえ、次の「活動の方向」をもとに下記重点事項を積極的に取り組むこととする。

(1) 活動の方向

- ① 青少年の心身を健やかに育む、② 青少年の社会力を育成する、③ 青少年の社会参加、社会的自立を促す、④ 青少年の健全育成に向けた社会環境づくり

(2) 重点事項

次の観点から、学校、家庭、地域、関係機関・団体と連携・協働により重点的に展開していくこととする。

① いじめ・非行防止に係る取組みの推進

- ・ 青少年が主体的にいじめ問題と向き合い、その解決を考える取組みを関係機関と一体的に推進する。

② 地域の実践活動の強化、促進

- ・ 市町村民会議、県地区青少年育成連絡協議会の活動を支援する。
- ・ 市町村民会議等の人材育成を支援するとともに、全県的な活動を促進する。

③ 青少年を社会全体で育成・支援する環境づくりの推進

- ・ 「青少年の健全育成」の理解と取組みが広まるよう気運の醸成を図る。
- ・ 「青少年を地域で見守り、育み、支援する」—安心安全な環境をつくる。
- ・ インターネットの安全・安心な利用に関する啓発を促進する。

令和2年度事業計画（案）

1 県民会議運営事業

(1) 総会、理事会及び常任理事会等の開催

- ① 総会（書面開催）
- ② 理事会（書面開催）
- ③ 常任理事会（9月中旬、3月上旬開催予定）

(2) 事務局の運営

- ・ 事務局長（専任）の配置
- ・ 事務局経費、各種会費等の支出
- ・ 関係団体との連携強化
- ・ ホームページの運営

(3) 運営基盤の強化

新規会員の開拓と会費収入の確保

(4) 他団体・内閣府等が主催する会議、研究会等への参加出席

2 県民運動総合推進事業

県下全域における県民運動の推進

(1) “いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動

- ① 市町村民会議等に対する支援
- ② いじめの根絶に向けた標語の募集、優秀標語や県民運動の広報・周知
 - ・ 優秀標語の表彰・広報
 - ・ 缶バッジ等啓発用品、ポスター等を用いた普及啓発活動の推進
- ③ 小中学生、高校生、特別支援学校生を対象とする運動の展開
 - ・ 児童、生徒と地域の大人の対話会の開催
 - ・ 高校生徒会によるスローガン・ポスター等の作成
- ④ 「いじめ・非行防止セミナー」の開催
 - ・ 講演、事例発表（10月25日(日)、県民大会の中で上山市体育文化センターにおいて開催）
- ⑤ インターネット利用に関する研修会の開催
- ⑥ 県内の民間企業・団体等と連携した啓発活動

(2) 「大人が変われば子どもも変わる」県民運動等地域社会環境づくりの推進

「大人が変われば子どもも変わる」県民運動をはじめとする地域における実情に応じた社会環境づくり等、以下の地域活動に対する助成

- ① 青少年育成地区連絡協議会が実施する「大人が変われば子どもも変わる」県民運動等の地域実践活動
- ② 市町村民会議等との連絡会議や研修会等の実施による地域での県民運動推進基盤の強化活動
- ③ 地区青少年育成連絡協議会が市町村民会議等と共同して行う運動

3 青少年育成意識醸成、青少年のための環境づくり推進事業

青少年育成に関する県民意識の醸成、青少年のための社会環境づくりの推進

(1) 明るいやまがた夏の安全県民運動

- ・ 7月22日～8月21日（7月：青少年の非行・被害防止全国強調月間）
- ・ 7月22日（水）山形市内で出発式を開催予定

(2) 青少年健全育成県民大会の開催

- ・ 県民大会の中で「いじめ・非行防止セミナー」を実施
- ・ 10月25日（日）、上山市体育文化センターで開催予定

(3) 山形県少年の主張大会の開催

- ・ 9月26日（土）「山形ビッグウイング」で開催予定

(4) 青少年のための環境づくり懇談会の開催

- ・ 11月下旬 開催予定
- ・ 青少年の生活・行動に関係が深い業界等との意見交換等の実施

4 青少年育成広報啓発事業

青少年健全育成に関する県民意識の啓発

(1) 防犯広報ポスター・標語の募集

※（公社）山形県防犯協会連合会、（株）山形新聞社、山形放送（株）との共催

(2) 機関紙等の発行

年2回発行（県と合同で）

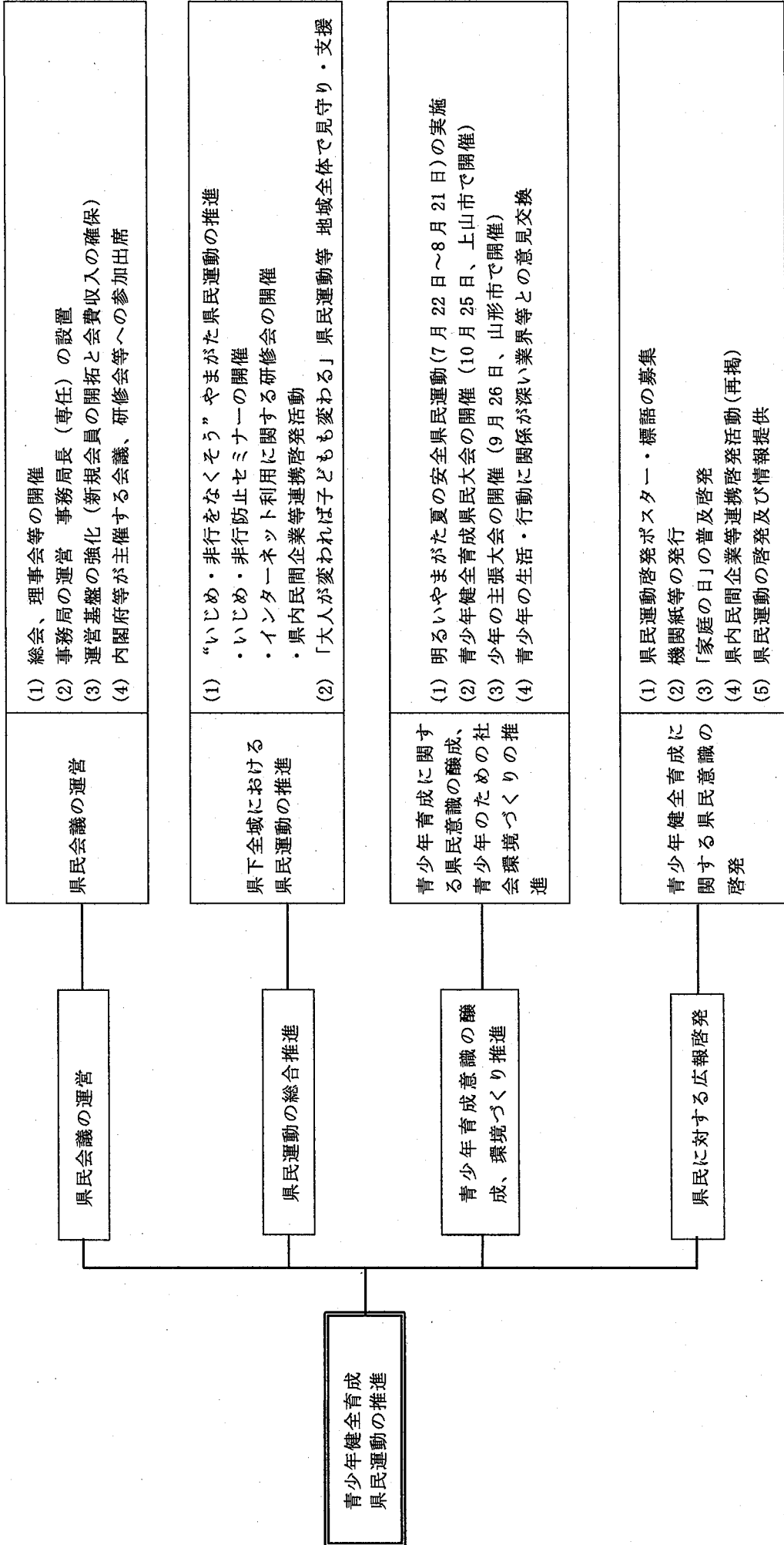
(3) 「家庭の日」の普及啓発

(4) 県内の民間企業・団体と連携した啓発活動（再掲）

(5) 青少年健全育成県民運動の啓発及び情報提供

県民運動に資する事業の協力・後援、県民運動に関する啓発・情報提供（随時）

【令和2年度 山形県青少年育成県民会議 事業体系図(案)】



(第5号議案)

令和2年度 一般会計収支予算(案)

1. 収入の部

(単位:円)

項 目	令和2年度予算額 (A)	令和元年度予算額 (B)	増減額 (A-B)
1 会費	2,200,000	2,200,000	0
2 補助金	9,891,000	10,020,000	△ 129,000
3 諸収入	900,000	900,000	0
4 委託料	500,000	500,000	0
5 繰越金	482,201	551,929	△ 69,728
計	13,973,201	14,171,929	△ 198,728

2. 支出の部

項 目	令和2年度予算額 (A)	令和元年度予算額 (B)	増減額 (A-B)
1 県民会議運営事業	8,120,000	8,120,000	0
2 県民運動総合推進事業	4,465,000	4,617,000	△ 152,000
(1) “いじめ・非行をなくそう” やまがた県民運動	3,368,000	3,520,000	△ 152,000
①市町村民会議等の支援	1,750,000	1,750,000	0
②標語の募集・県民運動の周知	550,000	550,000	0
③児童・生徒と地域の大人の対話会	240,000	240,000	0
④いじめ・非行防止セミナー	703,000	573,000	130,000
⑤インターネット利用に関する研修会	80,000	79,000	1,000
⑥県内民間企業等連携啓発活動	45,000	39,000	6,000
⑦ホームページのリニューアル	0	289,000	△ 289,000
(2) 「大人が変われば子どもも変わる」 県民運動等地域社会環境づくり推進	1,097,000	1,097,000	0
3 青少年育成意識醸成 ・環境づくり推進事業	980,000	1,000,000	△ 20,000
(1) 明るいやまがた夏の安全県民運動等	130,000	150,000	△ 20,000
(2) 青少年健全育成県民大会開催等	350,000	350,000	0
(3) 少年の主張大会開催	500,000	500,000	0
4 広報啓発事業	200,000	230,000	△ 30,000
(1) 機関紙等の発行	170,000	180,000	△ 10,000
(2) 啓発活動	30,000	50,000	△ 20,000
5 繰出金	0	0	0
6 予備費	208,201	204,929	3,272
計	13,973,201	14,171,929	△ 198,728

摘 要
県補助金（“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動、青少年育成県民運動推進費補助金等）
職員社会保険料、預金利子等
山形県少年の主張大会事業（国立青少年教育振興機構からの県代表推薦業務の委託費）
前年度からの繰越金

摘 要
総会・理事会等諸会議の開催、事務局長及び業務推進員給与、各種会費・会議への参加負担金等
各地区青少年育成連絡協議会、市町村民会議が行う啓発活動等に対する支援
標語の募集・選抜、県民運動の広報・啓発
県内4地区において実施
講演、事例発表の実施、記録集の作成
インターネットの危険性やフィルタリング等の理解を深めるため研修会を実施
県内の企業・団体等と連携した啓発活動
事業終了
「大人が変われば子どもも変わる」県民運動をはじめとする地域の実情に応じた社会環境づくり等 県民運動地域実践活動への支援
明るいやまがた夏の安全県民運動、防犯作品コンクール等の諸費用
青少年健全育成県民大会の開催等に要する経費
山形県少年の主張大会の開催に要する経費、記録集の作成経費
機関紙等の県との合同発行（年2回）
青少年健全育成県民運動の啓発及び情報提供、会員募集案内等の作成
特別事業積立金へ繰出し

特別事業積立金

単位：円

令和元年度末現在高	令和2年度増減		令和2年度末現在高
450,006	積立額	取り崩し	442,786
	0	7,220	

令和2年度 特別会計収支予算(案)

収入の部

単位：円

項目	令和2年度予算額 (A)	令和元年度予算額 (B)	増減額(A-B)
1 積立金取り崩し	7,220	0	7,220
2 繰越金	42,780	50,000	△ 7,220
計	50,000	50,000	0

支出の部

単位：円

項目	令和2年度予算額 (A)	令和元年度予算額 (B)	増減額(A-B)
1 青少年育成指導者 派遣研修助成金	50,000	50,000	0
計	50,000	50,000	0

役員を選任について(案)

山形県青少年育成県民会議 役員名簿

(任期:~令和4年度総会)

役職	氏名	所属等役職
会長	鈴木 慈	元県立山形北高等学校校長
副会長	宮田 浩一	庄内地方青少年育成連絡協議会会長
〃	伊藤 康則	村山地区青少年育成連絡協議会会長
〃	安達 英一	置賜地区青少年育成連絡協議会会長
〃	小松 功	最上地区青少年育成連絡協議会会長
〃	長岡 好永	有識者
常任理事	齋藤 法明	山形県私立中学高等学校協会理事
〃	井上 達也	明るい社会づくり山形地区推進協議会会長
〃	菊地 元宏	村山地区青少年育成連絡協議会副会長
〃	手塚 宮雄	置賜地区青少年育成連絡協議会副会長
〃	上村 博芳	村山地区青少年育成連絡協議会副会長
〃	青山 幹夫	庄内地方青少年育成連絡協議会副会長
〃	茅野 博	最上地区青少年育成連絡協議会副会長
〃	永森 忠大	山形県高等学校PTA連合会会長
〃	船橋 吾一	山形県PTA連合会副会長
理事	佐藤 重勝	山形県少年補導員連絡会会長
〃	山口 四郎	山形県子ども会育成連合会会長
〃	須崎 智志	山形県中学校長会幹事
〃	中村 孝律	置賜地区青少年育成連絡協議会副会長
〃	太田 正則	(公社)山形県防犯協会連合会専務理事
〃	戸村 浩二	山形県連合小学校長会対策委員
〃	松井 修平	NHK山形放送局放送部長
〃	鈴木 隆一	山形経済同友会代表幹事
〃	石井 靖雄	山形県民生委員児童委員協議会副会長
〃	山川 祐美子	(公社)山形県看護協会常任理事
〃	三森 和裕	山形地区保護司会会長
〃	辻原 吉子	ガールスカウト山形県連盟監事
〃	谷貝 茂子	国際ソロプチミスト山形会長
〃	奥山 恵治	(公社)日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会会長
〃	熊谷 岳郎	山形県教育庁生涯教育・学習振興課長
〃	笹原 広幸	山形県警察本部生活安全部人身安全少年課長
〃	工藤 明子	山形県子育て若者応援部若者活躍・男女共同参画課長
監事	森 晃	山形県商工会議所連合会幹事
〃	石澤 義久	山形県社会福祉協議会専務理事